

農業・農村情報整備・活用研究会（第4回） 議事概要

【地図情報の範囲や標準仕様、品質要件の検討】

（質問）

・人工衛星による水田の画像と稲の状態を重ね合わせるために、今回整理される予定の GIS のデータを利用したいが、提供される GIS のデータのファイル形式や投影法、座標軸はどの時点で決まりますか？

（事務局）

仕様書の資料 1-1 P41「座標参照系」に記載しているとおり、日本測地系 2000 という平面直角座標系で定義しております。1/2,500 という大縮尺の情報になりますので、全国の情報と一緒に使うことはないと言うことで、緯度・経度ではなく平面直角座標系の座標を基本に考えました。

〔ファイル形式について補足説明（事務局）〕

「農業・農村基盤図製品仕様書」の「付属書 2 符号化仕様」に、JPGIS ver.1.0 に従い、特定の GIS アプリケーションや特定のファイル形式に依存しない中立的で共通のルールに従った交換標準となる XML 形式による符号化仕様を規定します。よって、「農業・農村基盤図製品仕様書」に基づき作成されるデータは XML 形式となりますが、各々の GIS が内部形式（例えば shape 等）を持つ場合は、それぞれの形式に変換して使用することになります。その際、「農業・農村基盤図製品仕様書」は、標準の形式（XML 形式）のデータ定義説明書として、各々の GIS の内部形式へのデータ変換作業段階において参考となる資料となります。なお、「付属書 2 符号化仕様」は応用スキーマ等のデータ構造が決定すれば規則に従い作成できるものであることから研究会の検討資料に含んでおりませんが、農林水産省における最終的なとりまとめ時には最終的なデータ構造に対応した符号化仕様を付属書として添付する予定です。

参考ですが、「水土里情報活用促進事業」において開発予定の「水土里情報システム（仮称）」は、製品仕様書に基づく形式（XML 形式）から shape 形式をはじめとした汎用的なファイル形式への変換出力機能を実装する予定です。

【地図情報の効果的な活用に向けて】

（質問）

・これまでメンテナンスの重要性について話が出たと思いますが、提言に盛り込む必要はないでしょうか。

（事務局）

検討します。